

EVERYTHING DiSC<sup>®</sup>  
WORKPLACE<sup>®</sup>

映像ガイド

WILEY

## EVERYTHING DiSC WORKPLACE®

DiSC®を活かした14の職場実例を含む*Everything DiSC Workplace®*映像を使用することによって、より効果的な職場の人間関係を築くことができます。当マニュアルには、「ファシリテーション資料」フォルダ内の**Video\_BuildYourOwn**ファイルにある映像の概要が記載されています。



### DiSCの紹介

各DiSCスタイルを紹介します。

3 ページ

### 他のスタイルの人と働く

異なるDiSCスタイルの4人の登場人物が質問に回答する形式で、自分自身について語ります。

3 ページ

### 職場での対応策

各DiSCスタイルの人と働く際の課題および、より効果的な関係を築くための対応策を各登場人物が語ります。

5 ページ

### 他の人のスタイルの見分け方

一人の役者が様々なDiSCスタイルを実演します。

10 ページ

## DiSC®の紹介 4分30秒



この映像では、人間の持つ欲求の解読装置として機能するDiSCモデルを紹介し、そのDiSCモデルが構成する各スタイルの特徴、優先事項（プライオリティ）についても説明します。さらに、これらの情報を用いて、自分自身と、ともに働く人のことをより理解することで、職場の人間関係向上にいかに関与するかを説明します。

## 他のスタイルの人と働く 6分



4人の同僚に質問を投げかけます。4人は、それぞれのDiSCスタイルに合った回答をしますが、誰がどのスタイルかは伏せてあります。

### 「他のスタイルの人と働く」の活用方法

モジュール2で使用されるこの映像では、参加者が各スタイルに対して感じる最初の反応を体験できるようになっています。参加者は、この映像を見た後、各スタイルと働く際に難しい点と理解できる点についてまとめ、なぜそのような選択をしたかについて話し合います。

## 他のスタイルの人と働く（続き）

### 野村さん (D スタイル)



野村さんは、自分自身のことを、「行動的で自己主張が強く、目標志向である」と説明します。彼は、過度に分析したり、時間を無駄にする人を嫌います。人からは、ぶっきらぼうといわれることがあります。彼いわく、ただ事実を述べているだけで、相手を傷つけるつもりはないと説明しています。

### 伊藤さん (S スタイル)



伊藤さんは自分自身のことを、「友好的で忍耐強く、献身的」と述べます。彼女は、気さくでチームを大切に、人からは働きやすい人だと思われています。彼女は、頑固で他人の見解に無関心な人を嫌います。そして、優柔不断になるときもあることを承知していますが、大きな決断をする際には他の人の意見を取り入れたがります。

### 高橋さん (i スタイル)



高橋さんは、自分自身のことを「エネルギーで元気がある」と語ります。彼女は人との繋がりを大切に、チームで協働することを好みます。一方、何か問題があってもそれをきちんと話そうとしない人は苦手です。同僚から、真剣さに欠けるとかされていたり、会議などで本題から逸れてしまうこともあるということを実感しています。

### 小林さん (C スタイル)



小林さんは、自分自身のことを「信頼できる人間」と説明します。そして、予定を守らなかったり、発言する前に考えをまとめていない人を嫌います。また、ミスを防ぐためにあらゆる角度からチェックをするため、完璧主義だと同僚から言われるようです。さらに、情報は多いほうが良いと述べています。

## 職場での対応策 合計 11 分 30 秒



この映像では、異なるDiSCスタイルの人と一緒に働くための具体的な対応策を紹介しします。各スタイルと一緒に働くことについて、他スタイルをもつ登場人物に質問をします。その人物と働く際に直面した課題と、より効果的な関係を築くために用いた対応策について語ります。

### 「職場での対応策」の活用方法

これらの4つの映像はモジュール3で使用されており、各DiSCスタイルの人とより効果的に働くための方法を紹介しします。参加者は、これらの映像を見た後、自分たちの同僚とより効果的に働くためのアクション・プランを作成しします。

## 職場での対応策 (続き)

### 野村さんと働く場合 (D スタイル) 3分



#### 伊藤さん (S スタイル)

伊藤さんは最初、野村さんのことを非常に決意が固く、押しが強いので少し威圧感を感じていました。今では、野村さんは彼女に率直に接してほしがっており、彼の押しが強すぎると感じた際には、そのことをはっきりと伝えるようにすると述べている。



#### 高橋さん (i スタイル)

高橋さんは、野村さんの情熱に好感を持っており、彼が仕事に情熱を傾け、常に物事を動かし続ける点を評価します。しかし、彼にはぶっきらぼうでせっかちな面もあると思っています。そして、彼がとにかく物事の達成を望んでいるということを把握しているので、彼に対しては単刀直入であるように心がけています。



#### 小林さん (C スタイル)

小林さんは、野村さんの単刀直入ですぐに要点に触れるところに好感を持っています。しかし、野村さんが野心的なアイデアを押し付けようとする際に緊張が生じると言っています。小林さんは対応策として、柔軟な態度を保ち、十分なりサーチをする時間を要求するようにしています。

## 高橋さんと働く場合 (i スタイル) 3分



### 野村さん (D スタイル)

野村さんは、高橋さんのエネルギーを評価します。一方、高橋さんの言いたいことを理解し、すでに同意したにもかかわらず、彼女がまだそれについて延々と話し続けることに、野村さんは困っていました。野村さんは、彼女の気が済むまで話をさせ、その考えに対する承認を示すようにしました。



### 伊藤さん (S スタイル)

伊藤さんは、高橋さんのことを朗らかで楽しい人だと思っています。一方、高橋さんと一緒に働くことが混乱を招くことがあると思っています。高橋さんは新しい物好きで、定型の物事に対して興味を失うことを懸念しています。彼女が本題から脱線したり、当初の興奮から覚めて途中で投げ出してしまったりした際には、伊藤さんはそれについて遠慮なく指摘するようにしています。



### 小林さん (C スタイル)

小林さんは、高橋さんの高揚感が、チームの動力と創造性に貢献していると感じています。一方、高橋さんが自分のアイデアを小林さんに売り込もうとする際の彼女の感情的エネルギーの高さは、小林さんを不安な気持ちにさせます。小林さんは、高橋さんの気持ちを認識して、彼女の言い分に耳を傾けていることを示したうえで、批判的、あるいはよそよそしいという印象を与えずに、自分の不安を伝えることを学びました。



## 職場での対応策 (続き)

### 伊藤さんと働く場合 (S スタイル) 2分30秒



#### 高橋さん (i スタイル)

高橋さんは、伊藤さんのことを思いやりがあって支援的だと思っています。しかし、伊藤さんの用心深い性質によって物事に遅れが生じることがあると感じています。高橋さんは、あらゆるアイデアを伊藤さんに投げかけると混乱状態になり得るということを心得ています。今では、お互いに納得のいく期限を設定する方向で共に働いています。



#### 小林さん (C スタイル)

小林さんは、伊藤さんが物事を正しく行えるように時間をかけ、系統立てて作業することを評価しています。一方で、伊藤さんは、小林さんからのフィードバックを受けた際に批判されているように感じるということを伝えました。小林さんは、気に入らない点だけでなく、好ましい点についても指摘するようになりました。



#### 野村さん (D スタイル)

野村さんは、伊藤さんのことを、誰もが一緒に働きやすい人と思っています。一方、彼女が優柔不断な態度をとる時には、苛立ちを感じます。本当に同意しているのか、それとも単に失礼のないように振舞っているだけなのか、区別がつかないからです。とはいえ、自分の強硬すぎる態度をとりがちであることも承知しています。今では、間をおいて彼女に話す時間を与え、彼女の意見を聞くように心がけています。



### 小林さんと働く場合 (C スタイル) 3分



#### 高橋さん (i スタイル)

高橋さんは、小林さんが信頼できて、分析を得意とすることを評価しています。一方、彼を批判的過ぎると思うこともあります。また、彼が感情を表に出さないため、わかりにくい人だと思っています。今では、小林さんが自分よりも人前に出たがらないことと、高橋さんの仕事に対して批判的な発言をしても、悪気はないということを理解しています。



#### 伊藤さん (S スタイル)

伊藤さんは、小林さんも自分と同じように秩序を大切にすることで、一緒に働きやすいのですが、彼の寡黙さに悩んでいます。初対面の際、自分が嫌われているのではないかと、あるいは彼が怒っているのではないかなどと勘違いさせられました。今では、小林さんがそっけない態度をとっても、彼女を嫌っているわけではないということが分かっています。



#### 野村さん (D スタイル)

野村さんは、小林さんが懐疑的な点については気にせず、彼の知識の深さを評価しています。一方、小林さんは頑固なところがあり、確証のないものに対しては同意しない人だと感じています。今では、野村さんは、自分の見解を論理的に示し、小林さんが自分なりの決断をする時間を与えるようにしています。

## 他の人の見分け方（補足演習） 合計 5分



各映像では、他の人の見分け方を学習し、DiSCスタイルを識別する方法を学びます。人物自体よりも人物の言動や発言内容に参加者が注目できるように、1人の役者が、全スタイルの人物を演じます。

### - 「他の人の見分け方」の活用方法

8つの内、6つの映像は、参加者が普段の仕事の中で他の人を理解するのに役立つ、各スタイルの見分け方の練習に活用できます。シナリオ5と6には、複数のスタイルを組み合わせた人物が登場し、より難易度が上がります。

#### シナリオ 1



**Cスタイル：**岡田さんは注意深く控えめに改善点を示します。正確さや分析を重視する点から、彼女がCスタイルであることがわかります。体系的なアプローチを取ることや、論理的思考であることも彼女のスタイルの特徴です。

#### シナリオ 2



**iスタイル：**岡田さんはペースが速く、活気があり、次回の意見交換ミーティングを待ち望んでいます。表現豊かで、全員参加を望む点から、彼女がiスタイルであることがわかります。

#### シナリオ 3



**Dスタイル：**岡田さんは自己主張が強く、遠慮なく発言します。気が早く、物事を速く運びたがる性格から、彼女はペースの速いDスタイルだということがわかります。彼女は単刀直入で多少ぶつきらばうなところがあり、物事を成し遂げようとする固い決意を持っています。

### シナリオ 4



**Sスタイル：**岡田さんは受容的で思いやりがあり、その順応的な姿勢から、Sスタイルであることがわかります。彼女は心から人を助けたいがり、思いやりのある態度を示します。また、変更がある際には、かなり前もって知らせて欲しがります。

### シナリオ 5



**CD/DCスタイル：**岡田さんは懐疑的で率直であり、あからさまに苛立ちを示します。生真面目で、周到的な準備を必要とするところから、彼女はCDまたはDCスタイルであることがわかります。岡田さんは物事をはじめから正しく行いたがります。

### シナリオ 6



**iS/Siスタイル：**岡田さんは思いやりがあり、受容的です。その友好的で協力的な態度から、彼女はiS またはSi スタイルであることがわかります。また、生産性を求めながらもチーム全体が楽しみながらできる方法を好みます。

### シナリオ 7



**Dスタイル：**岡田さんはペースが速く、率直です。ぶっきらぼうでせっちな点から、彼女がDスタイルであることがわかります。彼女は、なかなか決断がつけられずに前に進まない状況に苛立ち、物事ははかどるように皆の背中を押します。

### シナリオ 8



**Sスタイル：**岡田さんは思いやりがあり、申し訳ない態度を示します。その支援的で順応的な姿勢から、Sスタイルだということがわかります。適度なペースで物事を進める彼女は、控えめなうえ親切で、同僚にことさらに気を使います。